

# 平成28年度 砂川市一般会計財務書類の概要

## 【貸借対照表】

- ◆ 平成28年度末の有形固定資産は37,609百万円で資産全体の約85%を占めています。このうち、学校や住宅等の公共施設などの事業用資産が20,524百万円、道路・橋梁・公園などのインフラ資産が16,670百万円です。
- ◆ 投資及び出資金1,195百万円の主なものは、中空知広域水道企業団への出資金1,134百万円です。基金(固定資産)1,685百万円の主なものは庁舎整備基金600百万円、土地開発基金374百万円、まちづくり事業基金360百万円です。
- ◆ 短期的に使用する又は使用することが可能である流動資産2,845百万円のうち、主なものは基金1,763百万円、棚卸資産589百万円です。基金1,763百万円は財政調整基金であり、棚卸資産589百万円は売却を目的に保有している公有地です。
- ◆ 負債13,066百万円の主なものは地方債(平成30年度以降償還分)10,919百万円、一年内償還予定地方債1,106百万円(平成29年度償還分)であり、負債全体の約92%を占めています。

## 貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
固定資産	41,238	固定負債	11,765
有形固定資産	37,609	地方債	10,919
無形固定資産	45	長期未払金	176
投資その他の資産	3,584	退職手当引当金	
投資及び出資金	1,195	損失補償等引当金	670
投資損失引当金	△10	その他	
長期延滞債権	42	流動負債	1,302
長期貸付金	8	1年内償還予定地方債	1,106
基金	1,685	未払金	51
その他	670	未払費用	
徴収不能引当金	△6	前受金	
流動資産	2,845	前受収益	
現金預金	466	賞与等引当金	91
未収金	11	預り金	54
短期貸付金	6	その他	
基金	1,763	負債合計	13,066
棚卸資産	589	固定資産等形成分	43,008
その他	10	剰余分(不足分)	△11,991
徴収不能引当金	△0	純資産合計	31,016
資産合計	44,083	負債及び純資産合計	44,083

## 行政コスト計算書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(単位:百万円)

科目	金額
經常費用	9,850
業務費用	4,786
人件費	1,703
物件費	1,429
維持補修費	129
減価償却費	1,342
その他の物件費	-
その他の業務費用	183
移転費用	5,064
補助金等	1,152
社会保障給付	1,543
他会計への繰出金	2,359
その他	11
經常収益	514
使用料及び手数料	396
その他	118
純經常行政コスト	9,336
臨時損失	344
臨時利益	2
純行政コスト	9,678

## 【行政コスト計算書】

- ◆ 經常費用9,850百万円のうち、全体の約半分が人件費や物件費などの業務費用、残り半分が補助金や社会保障給付、他会計への繰出金などの移転費用です。
- ◆ 業務費用のうち、物件費1,429百万円の主なものは除排雪に要する経費199百万円、ごみ収集処理に要する経費110百万円です。
- ◆ 移転費用5,064百万円のうち、他会計への繰出金2,359百万円の主なものは病院事業会計1,399百万円、後期高齢者医療特別会計348百万円、社会保障給付1,543百万円の主なものは社会福祉費688百万円、生活保護費464百万円、補助金等1,152百万円の主なものは、砂川地区広域消防組合負担金361百万円、砂川地区保険衛生組合負担金191百万円、中・北空知廃棄物処理広域連合負担金106百万円です。
- ◆ 臨時損失344百万円は災害復旧事業に要した経費です。

## 【資金収支計算書】

- ◆ 業務活動収支のうち、支出の主なものは他会計への繰出金2,359百万円(病院事業1,399百万円、後期348百万円など)、人件費1,684百万円、社会保障給付1,543百万円、収入の主なものは税収等7,660百万円、国や道等からの補助金1,638百万円です。
- ◆ 投資活動収支のうち、支出の主なものは公共施設等の整備に係る支出1,068百万円、基金への積立765百万円(庁舎整備基金600百万円、まちづくり事業基金107百万円、社会福祉基金54百万円など)、金銭の貸付775百万円(土地開発公社710百万円など)、収入の主なものは貸付金の回収775百万円(土地開発公社710百万円など)、基金の取崩し471百万円(財政調整基金436百万円など)、施設整備に係る国や道からの補助金133百万円です。
- ◆ 財務活動収支のうち、収入は地方債の発行による収入1,187百万円、支出は地方債の償還1,116百万円です。これにより地方債の残高は70百万円増加しました。

## 資金収支計算書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(単位:百万円)

科目	金額
業務支出	8,487
業務収入	9,788
臨時支出	335
臨時収入	126
業務活動収支	1,092
投資活動支出	2,639
投資活動収入	1,456
投資活動収支	△1,183
財務活動支出	1,116
財務活動収入	1,187
財務活動収支	70
本年度資金収支額	△21
前年度末資金残高	432
本年度末資金残高	412
前年度末歳計外現金残高	46
本年度歳計外現金増減額	8
本年度末歳計外現金残高	54
本年度末現金預金残高	466

## 純資産変動計算書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(単位:百万円)

科目	合計	固定資産等形成分	剰余分(不足分)
前年度末純資産残高	31,480	43,325	△11,845
純行政コスト(△)	△9,678		△9,678
財源	9,567		9,567
税収等	7,662		7,662
国県等補助金	1,905		1,905
本年度差額	△112		△112
固定資産等の変動(内部変動)		△5	5
有形固定資産等の増加	1,005		△1,005
有形固定資産等の減少	△1,345		1,345
貸付金・基金等の増加	1,595		△1,595
貸付金・基金等の減少	△1,260		1,260
資産評価差額	0	0	
無償所管換等	△281	△281	
その他	△71	△32	△39
本年度純資産変動額	△463	△318	△146
本年度末純資産残高	31,016	43,008	△11,991

## 【純資産変動計算書】

- ◆ 平成28年度の純行政コスト△9,678百万円に対し、税収等7,662百万円、国や道等からの補助金1,905百万円を充当した結果、純資産の本年度差額は△112百万円となりました。
- ◆ 純資産内部での変動のうち、有形固定資産等の増加1,005百万円の主なものは、砂川市土地開発公社からの土地取得165百万円、海洋センター体育館アスベスト除去工事59百万円、空知太中通り改良舗装工事51百万円です。貸付金・基金等の増加1,595百万円の主なものは、砂川市土地開発公社への貸付710百万円、庁舎整備基金の積立600百万円、まちづくり事業基金の積立106百万円です。
- ◆ 無償所管換等、その他については主に固定資産台帳や財務書類作成過程での修正等により生じたものです。
- ◆ 以上の増減により平成28年度の1年間で過去の世代が負担した税金や、国・道等からの補助金で取得した純資産は463百万円減少して、平成28年度末の残高は31,016百万円となりました。

※上記の数値は百万円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。